

## 研修会報告

平成 31 年 1 月 24 日

文責：生理検査部門 佐藤 貴光

研修会テーマ「心電図の苦手意識を克服しよう！」

開催日時 平成 31 年 1 月 19 日（土）13：10 ～16：40

会場 仙台市立病院 3 階講堂

・講演 1「山ちゃんの苦手意識を克服しよう！～中級者心電図講習～」

講師：大阪府済生会中津病院 検査技術部 山崎 正之 技師

座長：仙台市立病院 若月 悠 技師

・症例検討

講師：大崎市民病院 小嶋 あさか 技師

坂総合病院 奥山 由紀 技師

東北大学病院 松田 莉枝 技師

座長：仙台赤十字病院 西尾 太一 技師

・講演 2「ペースメーカーの心電図を読み解く！」

講師：仙台市立病院 循環器内科 石田 明彦 先生

座長：仙台医療センター 菅原 亜紀子 技師

生涯教育点数：専門 20 点

参加者：会員 155 名 非会員 11 名 計 166 名

内容

今回の研修会は「心電図の苦手意識を克服しよう！」をテーマに、中級者以上の会員にも有意義な内容となる研修会を企画した。

講演 1 では心筋細胞の活動電位の発生機序など、基礎生理学から詳細に解説して頂いた。電解質異常や虚血性心疾患の心電図変化がいかにかに生じるか、抗不整脈薬がいかにかに作用するかなど、細胞レベルでの機序を学ぶことができた。こうした基礎生理学の研修会は非常に少なく、多くの参加者にとって貴重な機会となったと考える。

症例検討では、一過性の完全房室ブロック、診断に苦慮した頻脈、TAVI 術後の房室解離の症例を発表頂いた。いずれの症例も、コメンテーターの先生方からの確かなアドバイスを頂き、日常遭遇する疑問を解決する一助となった。

講演 2 ではペースメーカーについて分かりやすく解説して頂いた。ペースメーカー植え込みの適応をはじめ、代表的な設定の正常作動や不適切作動について、実際の症例を通して学ぶことができた。ペースメーカーはあらゆる施設で遭遇し得るが、基礎生理と同様、研修会で学ぶ機会は限られる。各施設の知識の向上を図る上で、大変有意義な内容であったと考える。

今回の研修会は非常に多くの会員に参加頂いた。今後も宮城県臨床検査技師会員が積極的に参加できる、価値ある研修会を多く開催していきたい。